

日本倫理・哲学グランプリ（2018）結果発表

今年度の日本倫理哲学グランプリ（2018）には50編の応募があり、選考の結果、次のように金賞1名、銀賞3名、銅賞5名、奨励賞7名の入賞が決定しました。

賞	氏名	学校名	学年
金賞	八橋 嶺	アメリカン・スクール・イン・ジャパン	1年
銀賞	谷口龍星	関西学院高等部	2年
	原 千晴	広島女学院高等学校	2年
	長谷川 愛	石川県立金沢泉丘高等学校	2年
銅賞	笠井 美穂	国際基督教大学高等学校	2年
	宍戸 真生	女子学院高等学校	2年
	熊谷 勇輝	開成高等学校	1年
	影山 優佳	筑波大学附属高等学校	2年
	浅村のぞみ	桜蔭高等学校	3年
奨励賞	池田淳一郎	筑波大学附属駒場中学校	2年
	大庭千羽哉	筑波大学附属駒場中学校	2年
	江野本諭吉	開成高等学校	2年
	松浦 正樹	広島学院高等学校	1年
	峯川 優也	渋谷教育学園幕張高等学校	1年
	白井いろは	Hanover High School	3年
	畝矢 寛之	灘高等学校	2年

日本倫理・哲学グランプリ入賞者へ

- 入賞者は、国際哲学オリンピック選考会に挑戦出来ます。そこでグランプリを獲得した上位2名が国際大会本選に出場出来ます。

英語で課題を出し英語でエッセイを記述いただきます。

(※英語の試験ではありませんので、文法的な誤りに関する減点はありません)

(※IPO 国際大会参加資格は来年5月時点で高校生であることが条件になります)

IPO 日本組織委員会

顧問：北垣宗治（同志社大学名誉教授）

委員長：梶谷真司（東京大学大学院総合文化研究科教授）

以上